

# 選手注意事項

## 1 競技について

- (1) 本競技会は、2019年度日本陸上競技連盟規則および本大会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 招集場所について、トラック競技は各競技スタート付近、フィールド競技は競技場所とする。招集完了時刻の5分前をめどに係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人でもよい。  
招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前とする。
- (3) 競技に出場しない選手・チームは招集場所にて申し出ること。
- (4) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (5) ナンバーカードはそのままの形でユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部のいずれか一方でもよい。トラック競技に出場する選手は、主催者が用意する腰ナンバー標識を右腰後方に付けること。
- (6) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
- (7) リレー競技に出場する学校は、所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに本部に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方については当日の状況により決定する。  
※棒高跳の練習はゴムバーを使用  
※三段跳の踏切板は、砂場まで男子11m、女子9mとする
- (9) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、現地で審判員が渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (10) 競技用具については棒高跳用ポールを除き、競技場備付のものを使用する。
- (11) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を、競技区域内で所持または使用することはできない。

## 2 その他

- (1) 競技場の開場時間は7：30とする。
- (2) 学校受付は陸上競技場玄関ロビーにて行う。
- (3) 大会中のけがについては各校で対処すること。ただし緊急時はこの限りではない。
- (5) 各校補助員は放送の指示により集まり、補助員係の指示を受けること。
- (6) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。
- (7) 競技に支障のあるような応援はしないこと。